

## 曙 光



令和6年10月1日発行

広島県立

総合リハビリテーションセンター

あけぼの

〒739-0036

東広島市西条町田口 295-3

TEL (082) 425-1455

高齢の父の終活としてモノの整理（本当に必要な物とそうでない物を仕分けする）をしようということになり、父の了解を得て子で整理することになった。トップバッターとして、捨てるのが得意な？私が先月の三連休を使って一次仕分けを行った。

着ることのない服、歴史的仮名遣いで書かれた小説などの本、医療費や薬の領収書、病院の検査データ結果、手紙類等の処分はすんなりと了解してもらったが、旅先でもらったパンフレットや旅館の箸袋？などの整理を始めると「いるんだ」と言い始め雲行きが怪しくなった。極めつけは、灰皿を捨てようとした時

で「捨てるな」と言っただけで真っ赤な顔で怒り始めた。以前から煙草は吸わないし、煙草を吸う友達も訪ねて来なくなったので、五つある内の一つを残したらどうかと返したのがまじまじと怒られてしまい作業が中断して、その日の作業は終わった。

家に帰ってから、私は次のようなことを考えた。親子といえども他者である私は必要性でモノの価値を判断したが、所有者である父はモノの必要性もあるが、思い出という価値を求めているのではないかということだ。以前は、地域の神楽仲間らとの旅行等がよくあったように、それぞれのモ

ノからは、モノに宿る記憶や人々を思い起こし、その時、その場所を回想することが出来る。他者にはゴミとしか思えない箸袋であっても、父はその箸袋を見ることで旅館名や食事などの旅先の記憶がよみがえり、過去の楽しかったことを一つひとつかみしめることができたのではないか。思い出すことで心が生き生きとして、生きる力になっていたのではないか。

昨今、終活の一環として断捨離をする人が増えているようである。断捨離は空間を新しく陳代謝させながら新たな思考と行動につなげることで多く人がいるが、なるほど中々上手いことを言うなと思う。しかしながら、断捨離することにも節度を求められることが、今回のことで良く理解できた。作詞家の秋元康氏は「歌は思い出の目次になるもので

す。人は歌を耳にすると、その当時のことを色々思い出すものです」と言った。私自身も青春時代の歌を聞くと四十年程の時を超え、一瞬でその頃の自分に戻ることが出来る。同時に、モノにも思い出の目次となる力があるのだ。当施設の利用者には、受傷以降の新しい記憶障害がある方が難しい記憶障害がある方もおられる。その方が大切にしているモノからは、手に入れた時の人生の風景、記憶をよみがえらせることができるかもしれない。

また、形のない歌を聞くことも、過去の楽しかった時代を思い出せることができるかもしれません。もちろん辛い思い出もあると思いますが、過去を振り返る貴重な「よすが」となるモノや音楽に触れる機会を大切にして、それらが、明日への活力になればと思います。



## 事業活動のご紹介

### 浴室清掃(通所グループ)

就労に向けた訓練の一つとして、通所利用者の方々が特殊浴室の清掃を行っています。職員(依頼主)と電話でやり取りを行い、事前に清掃箇所を確認し、清掃終了後は状態のチェックを依頼しています。浴室を綺麗にすることはもちろん、仕事上の適切なやり取り(電話対応、言葉遣いなど)も練習しています。



### パソコン講習



毎週木曜日に専門の講師に来ていただき、パソコンの基本的な操作や、就労に向けてワードやエクセル等を用いた実践的テクニック等の練習を行っています。利用者のニーズに合わせ、キーボード入力や漢字の変換が難しい方へは、IME パッド(漢字の手書き)を用いて取り組むなど個別に対応しています。



#### 講師よりひとこと

パソコン習得に向けて皆さん頑張っておられます。少しずつでも「できた!」と喜びを感じておられる様子に、私もうれしく思います。





# 生活介護

利用者の皆さんからやりたいことを募り、様々な楽しみ活動を行っています！  
 ドライブでは、天気の良い日に三ツ城古墳や安芸津港など色んな所へ出かけています！  
 また、昔懐かしい『寅さん』やジブリ作品、ヒット作などの映画鑑賞も行っています。  
 クッキングでは、ピザやお好み焼きを作り、皆で美味しくいただきましたよ！



## 納涼会 8月22日

今年も納涼会を開催しました！  
 千本くじ・釣りゲーム・ビンゴゲームを楽しみました！  
 とてもとても暑さの厳しい夏の盛り・・・冷たい飲み物やかき氷で、涼を感じていただきました！



冷たくて  
美味しいよ！



## 自治会活動



今年度も6月に自治会総会を開催し、新役員が選出されました。  
 新体制発足後は毎月1回、日々の生活のこと、誕生日会や行事のことについて役員で話し合い、会議を行っています。  
 8月に行われた納涼会では、ビンゴ大会の進行や出店の当番を担っていただきました。  
 今後も行事や日々の生活の中での意見を出し合い、自治会役員の皆さんを中心に活動をおこなっていきます。



## 利用者の動き

(令和6年6月1日～9月30日)

《新規利用者》 5名 (生活訓練4, 生活介護1) (入所4, 通所1)

【利用経路】 高次脳機能センター5 (入院4, 外来1)

《利用終了者》 7名 (生活訓練4, 生活介護3) (入所5, 通所2)

【進路先】 生活の場: 自宅3, グループホーム2, 施設2

日中活動: 就労継続B型2, 生活介護1, その他4



利用状況 令和6年9月30日現在

	生活訓練	生活介護	施設入所
定員	24	30	40
在籍数	15	14	20

利用のご相談は  
随時受け付けて  
います。



## 題字紹介

今回は、利用者の中野雅文さんに「曙」、豊嶋留美さんに「光」を書いていただきました。お二人とも題字を依頼すると快く承してくださり、丁寧に仕上げてくださいました。  
 書き終えた後の、達成感のある表情や、「いい経験ができました」との言葉が印象的でした。

## 編集後記

今年の夏は例年に比べ猛暑日が多く、毎日暑いなあと感じていましたが、ここ最近は朝晩急に冷え込むようになってきました。

私事ですが、8月から育児休業より仕事に復帰し、子どもは保育園に通い始めました。毎日やりとりしている連絡帳には「散歩に行き、松ぼっくりやどんぐりをみつけました」等書かれており、秋の訪れを感じています。

季節の変わり目で、昼夜の寒暖差に戸惑うこの頃ですが、皆様どうぞお健やかに過ごしてください。

